

プレスリリース
2025年
10月30日



関係各位

全 2 枚

コレクション展(常設展示室)展示替えのお知らせ

コレクション展では、「長崎ゆかりの美術」と「スペイン美術」を中心とする当館の収蔵品（約 9,000 点）の魅力を、さまざまな切り口によって多角的に紹介しています。

第3室 須磨コレクション一名品選 11月13日（木）～

第4室 東松照明「町歩き」 11月13日（木）～2026年1月25日（日）

常設展示室 第3室 須磨コレクション一名品選

会期 | 2025年11月13日（木）～

第二次世界大戦の期間、スペインに特命全権公使として派遣された外交官の須磨彌吉郎（1892－1970）が現地で収集した美術コレクションの中から選りすぐった作品群をご紹介します。15世紀に手掛けられたキリスト教主題の絵画から、須磨と深い親交を結んだ同時代の画家の作例まで、さまざまな文脈のなかで制作されたスペインの美術作品をお楽しみください。

ホセ・グティエレス・ソラーナ《軽業師たち》1930年、
油彩・カンヴァス、須磨コレクション、長崎県美術館蔵



常設展示室 第4室 東松照明「町歩き」

会期 | 2025年11月13日（木）～2026年1月25日（日）

1961年に長崎を初めて訪問して以来、東松照明は次第に長崎の町そのものに興味を抱くようになります。まるで「まばたき」をするようにシャッターを切った写真の数々には、東松が愛した長崎の日常がありのままにとらえられています。

東松照明《おくんち 6 万屋町》1999年、クリスタルカラープリント、
長崎県美術館蔵 ©Shomei Tomatsu-INTERFACE



関連イベント「コレクション・イン・フォーカス」◎聴講無料、当日受付

所蔵作品を紹介する展覧会と連動し、担当学芸員が作家や作品についてわかりやすく解説します。どなたでも気軽にご参加いただけます。

時間 | 11:00～11:40（開場 10:30）

会場 | ホール

定員 | 40 名程度

2025年12月7日（日）「須磨コレクションの新収蔵作品」

講師 | 稲葉友汰（長崎県美術館学芸員）

2023、2024 年度に当館のコレクションに加わった作品群のうち、第二次大戦時の外交官であった須磨彌吉郎が収集したスペイン美術の作品をいくつか紹介します。

2026年1月25日（日）「東松照明と長崎」

講師 | 森園敦（長崎県美術館学芸員）

東松照明はなぜ半世紀にわたり長崎にこだわり続けたのでしょうか。1960 年代の作品から 2000 年代の街歩きシリーズまでを網羅的に紹介します。

●広報用画像のご提供について

本リリースに掲載している画像を広報用にご用意しています。ご利用を希望される場合は、媒体名、発行日、ご担当者名、連絡先、ご希望の画像を記載の上、長崎県美術館広報宛にメール（info-k@nagasaki-museum.jp）にてご連絡ください。画像使用の際は以下にご注意ください。

①画像の使用は、本展をご紹介していただける場合に限ります。②掲載にあたっては事前校正が必要です。③画像のキャプションを必ず表記してください。④画像のトリミングや文字載せは不可。⑤二次使用禁止。使用後は速やかに画像データを破棄ください。⑥掲載終了後は、掲載出版物を広報宛にお送りください。

※常設展示室 4 室「東松照明「町歩き」」作品画像の掲載は、著作権使用許諾の申請等が必要です。作品画像の掲載をご希望の場合は当館広報までご相談ください。お急ぎの場合や画像の無料掲載をご希望の方は、当館の外観写真もしくは展示風景画像をお送りいたします。ただし、展示風景画像は 2025年11月13日（木）以降の送付となります。

「コレクション展（常設展示室）」概要

時 間 | 10:00～20:00（1月2日・3日は 18:00 まで）※最終入場は閉館 30 分前まで

休館日 | 每月第2・第4月曜日（祝日の場合は火曜日）

入場料 | 一般 420（340）円、大学生・70 歳以上 310（250）円、小中高生 210（170）円

◎()内は 15 名以上の団体料金。◎県内在住の小・中学生は無料。

◎学校行事の一環として、県内の小・中・高・特別支援学校生が利用する場合は、引率の教員を含め無料。

◎身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費（指定難病）医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証提示者及び介護者 1 名は無料。
